

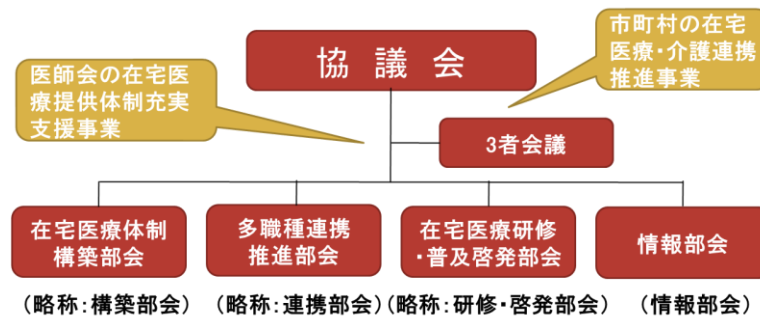


萩圏域 地域包括ケアネットワーク協議会






(愛称:ケアネットはぎ)

～誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることのできる萩圏域を目指して～

萩市医師会が山口県から受託した在宅医療提供体制充実支援事業と、萩市・阿武町が全面実施する在宅医療・介護連携推進事業の背景や目的が重なり合っていることから、両事業の合理的で効率的、効果的な取組を推進するために、3者合同で運営する協議会を平成30年12月に設置、圏域の医療・介護・行政関係者等に多数、参画していただいています。令和3年度には、障がい福祉関係者にもご参画いただき、圏域の関係者が一体となって、地域共生社会の実現を目指した取組を推進しています。



※萩市医師会・萩市・阿武町で構成する「3者会議」で協議会の庶務を処理。

	<p>協議会長 綿貫 篤志</p>	<p>総人口・老年人口・生産年齢人口・年少人口がいずれも減少する中、後期老年人口だけは2030年頃まで増加し、その後もしばらく高止まりします。広大な面積をもつ萩圏域において、それぞれの地域の実情に応じた垣根の低い多職種連携や住民との協働の実現を目指します。</p>
	<p>構築部会長 兼田 健一郎</p>	<p>在宅医療の体制構築にあたっては「入退院支援」「日常の療養支援」「急変時の対応」「看取り」といった4つの場面に応じた医療機能の確保や多職種連携が重要です。各地域における診療ネットワーク等の構築を目指します。</p>
	<p>連携部会長 佐久間 暢夫</p>	<p>私たちの地域には、住民一人ひとりの生活を支えるための多くの専門職があります。それぞれがどのように協力しあっていけばよいのか、これまで知らなかった他の職種のことを理解し、認めあい、互いに得意とする能力を発揮して協働の礎を築きます。</p>
	<p>研修・啓発部会長 安藤 静一郎</p>	<p>医療・介護・福祉資源の調査、現状の把握を行いながら、圏域の関係者に対しては研修会等を通じて情報の共有や知識の向上を、住民に対しては在宅医療・介護の現状を周知するとともに、意見を伺いながら資源の活用について啓発していきます。</p>
	<p>情報部会長 玉木 英樹</p>	<p>萩市・阿武町の住民の健康や安心・安全を確保するために、医療機関、介護・福祉施設、行政等でサービスの提供や支援に必要な情報を共有するネットワークシステムを構築し、合理的で質の高いサービスを継続して提供できる体制を目指します。</p>